

アドビ、Adobe Firefly Video Model を発表 Adobe Firefly Image、Vector、Design Model も強化

- Adobe Firefly Video Model（ベータ）が加わり、アドビのクリエイティブな生成 AI モデルのファミリーを拡張。一般に提供される初めてのビデオモデルとなり、安全に商用利用が可能
- 今回の Adobe Firefly Model の強化に含まれるのは、画像生成の 4 倍の高速化と、新たにサポートされた Adobe Premiere Proをはじめ、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe Express に統合された数々の新機能
- 2023 年 3 月の初登場以来、Adobe Firefly で生成された画像は 130 億枚に達し、大手ブランドや企業による急速な導入が進行中

※当資料は、2024 年 10 月 14 日（米国時間）に米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳版です。

【2024 年 10 月 14 日】

アドビ（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、世界最大のクリエイティブカンファレンスである [Adobe MAX](#) にて、クリエイティブな生成 AI モデルのファミリーである Adobe Firefly が動画へと対応を広げ、Adobe Firefly Image Model、Adobe Firefly Vector Model、Adobe Firefly Design Model の既存モデルにおいても新たに画期的な進歩を遂げたことを発表しました。また、大手ブランドや企業による Adobe Firefly の導入が大幅に加速していることも明らかにしました。現在制限付きのパブリックベータ版が公開された [Adobe Firefly Video Model](#)（ベータ）は一般に利用可能な最初のビデオモデルであり、安全に商用利用できるように設計されています。Adobe Firefly は 2023 年 3 月に最初のベータ版がリリースされて以来、130 億枚以

上の画像を生成するために使用されており、直近の 6 か月間だけで 60 億枚以上が生成されています。

アドビのデジタルメディア担当最高技術責任者（CTO）であるイーライ グリーンフィールド（Ely Greenfield）は、次のように述べています。「私たちのクリエイティブアプリケーションにおける Adobe Firefly の利用は急速に拡大しており、クリエイティブコミュニティがその可能性を最大限に引き出し、新たな領域に挑戦している様子は非常に刺激的です。私たちは、今後もさらに多くの、アイデア創出や作品の制作に役立つ、安全に商用利用可能なツールをクリエイティブプロフェッショナルに届けられることを楽しみにしています。」

新しい Adobe Firefly 搭載機能

Adobe Firefly Video Model（ベータ）は、Adobe Firefly Image Model、Adobe Firefly Vector Model、Adobe Firefly Design Model を含むこれまでのアドビの Adobe Firefly 生成 AI モデルのファミリーを拡張し、Adobe Firefly をクリエイティブチーム向けの最も包括的なモデルとして提供します。本日より、限定的なパブリックベータ版として提供を開始し、少数のクリエイティブプロフェッショナルから初期のフィードバックを収集します。このフィードバックは、モデルの継続的な改良と改善に役立てられます。

Adobe Firefly はリリース後 1 年以内に Adobe Photoshop、Adobe Express、Adobe Illustrator、Adobe Substance 3D などに導入され、Adobe Creative Cloud アプリケーションのさまざまなワークフローをサポートしてきました。また、100 以上の言語のテキストプロンプトをサポートしており、世界中のユーザーが安全に商用利用し魅力的なコンテンツを作成できるようになっています。

以下は、本日より新たに Adobe Creative Cloud で提供される Adobe Firefly 搭載機能です。

- **完璧なタイミングの動画編集を可能にする「[生成拡張](#)」（ベータ）**：Adobe Firefly Video Model を搭載し、本日から Adobe Premiere Pro（ベータ）で利用できる「生成拡張」を使用すると、クリップを拡張して映像のギャップを埋めたり、トランジションをスムーズにしたり、ショット延長して完璧なタイミングの編集を行うことができます。
- **ユーザーコントロールを向上し、魅力的なビデオクリップを作成できる「[テキストから動画生成](#)」と「[画像から動画生成](#)」（ベータ）**：Adobe Firefly Video Model を搭載した「テキストから動画生成」と「画像から動画生成」は、本日から Adobe Firefly web 版で制限付きのパブリックベータ版が利用可能です。「テキストから動画生成」では、動画編集者はテキストプロンプトに加え、アングル、動き、ズームなど、動画を微調整するためのさまざまなカメラコントロールを活用して動画を生成することができます。また、参照画像を使用して、タイムラインのギャップをシームレスに埋める B ロールを生成することも可能です。
「画像から動画生成」は、静止画やイラストに命を吹き込み、素晴らしいライブアクションクリップに変換する機能です。
- **より高速な画像生成を可能にする Adobe Firefly Image 3 Model**：Adobe Firefly Image 3 Model の最新の進化により、従来モデルの最大 4 倍の速さで結果が出せるため、あらゆるレベルのクリエイターが数秒で生成された画像からアイデアを得ることができます。Adobe Firefly web 版で本日より利用可能です。
- **Adobe Photoshop:生成ワークスペース**：Adobe Firefly を使った「生成ワークスペース」を [Adobe Photoshop](#) に搭載。デザイナーのアイデア出し、ブレインストーミング、複数のコンセプトの検証を同時に行い、イメージしていたビジョンを形にすることができます。従来よりもビジュアルを速く表示でき、より直感的に操作しながらこれらの作業を行うことができます。
- **強化された Adobe Illustrator の「Adobe Firefly Vector Model」（ベータ）**：Adobe Illustrator は、今年登場した最新の「Adobe Firefly Vector Model（ベータ）」に搭載された「生成塗りつぶし」（ベータ）、「生成再配色」、「テキストからパターン生成」をすべて導入し、デザイナーが素早くアイデアを創出したり、既存のアートワークやデザインに独自のスタイルで詳細なベクターを追加したりできるようにしました。最新の Adobe Firefly

Vector Model では、クリエイターは1つのパターン内の要素の密度をさらにコントロールできるように、要素の密度を変更できるようになりました。また、アドビは、マルチプレイヤー、コラボレーション、クリエイティブなコンセプト開発のための新しい機能である [Adobe Project Concept](#) を先行公開しました。リアルタイムで画像をリミックスできる機能により、クリエイターは1つのキャンバス上でコンセプトを作成することが可能になります。

新しいエンタープライズ向けサービスによる大規模なコンテンツ制作

さらに、企業がクリエイティブ機能および生成 AI 搭載機能にアクセスするための API のコレクションである Adobe Firefly Services において、アドビは制作ワークフローのキャパシティを拡大する新しいサービスを発表しました。これには、本日ベータ版が提供開始された「ダビングとリップシンク」が含まれます。これは、生成 AI を使用して、一致するリップシンクで元の音声のサウンドを維持しながら、話されている会話を別の言語に翻訳する機能です。さらに、本日ベータ版として追加された UI、「Bulk Create, Powered by Firefly Services」により、クリエイティブプロフェッショナルは大量の画像をより効率的に編集できるようになり、リサイズや背景除去などの作業が合理化されます。

PepsiCo/Gatorade、IBM、Mattel、IPG Health、Deloitte などの企業は、Adobe Firefly をワークフローの最適化やコンテンツ制作の規模拡大に活用しており、クリエイティブチームはクリエイティブなビジョンの探求にもっと多くの時間を使えるようになっています。

Adobe Firefly による責任あるイノベーションの推進

Adobe Firefly は、クリエイティブなニーズ、ユースケース、ワークフローを想定して設計された生成 AI ツールのエンジンです。アドビは、Adobe Stock やパブリックドメインのコンテンツなどのラ

イセンスされたコンテンツで [Firefly 生成 AI モデルをトレーニング](#)しました。さらに、アドビの AI は、説明責任、社会的責任、透明性という [アドビの AI 倫理原則](#)に従って開発されています。

2019 年に [Content Authenticity Initiative](#) (コンテンツ認証イニシアチブ) を設立以来、アドビはデジタルコンテンツの透明性を確保するための業界標準として [コンテンツクレデンシャル](#) (英語) の普及を推進しており、現在では 3,700 を超えるメンバーに支持されています。コンテンツクレデンシャルは、デジタルコンテンツの「成分表示ラベル」のようなもので、コンテンツがどのように作成され編集されたかについての背景情報を提供します。この機能は、Adobe Creative Cloud で提供される Adobe Firefly 搭載機能の一部において、生成 AI の使用を表明するために使われています。

価格と入手方法

Adobe Firefly Video Model は firefly.adobe.com にて限定パブリックベータ版を公開しています。ウェイトンリストは [こちら](#) からご覧いただけます。パブリックベータ期間中は、生成機能を無料でご利用いただけます。アドビは、Adobe Firefly Video Model の限定パブリックベータ期間が終了した時点で Adobe Firefly Video Generation のオファーと価格に関する詳細情報を共有いたします。

■「アドビ」について

アドビはデジタル体験を通じて世界に変革をもたらします。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

© 2024 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.